

2024年6月18日(火) 7限

1・3年生普通科 先輩と語る会

「総合的な探究の時間」の中で、1年生と3年生が座談会を行い、進路や学校生活について交流しました。1年生は、勉強と部活の両立や文理選択、志望校の決め方などについて、文系理系それぞれの視点から話を聞くことができました。3年生は、自分の経験を語ることによって高校生活を振り返ると共に、受験生としての仲間の取り組み方を共有することができ、有意義な時間となりました。

【座談会の様子】



【感想】

《1年生》

- ・3年生の話を聞いて、3年生になってから勉強を始めるのでは3年生になってから後悔するので、1年生のうちから頑張りたいです。
- ・文理選択は間違えてしまうと、やりたいことをあきらめることになるという先輩の経験を聞いて、改めて文理選択について深く考えたいと思いました。
- ・私は今回の座談会を通して、今の勉強量では自分の夢の実現には程遠いと思いました。自分のためにも、隙間時間でもコツコツと勉強していきたいと思いました。
- ・座談会を通して、今のうちから将来について考えることが大切だと分かった。私は大学などについて全然知らないなので、夏休みを利用して、より多くの大学を知りたいと思いました。

《3年生》

- ・1年生の頃からもっと勉強しておけばよかったと今私たちは思っているので、そういう気持ちを今の1年生が思わないようにしてほしいです。
- ・「受験勉強を始めるのに遅すぎることはあっても、早すぎることはない」と同じ班の子が言っていて、1年生に語るつもりが、同級生からの言葉が心に残りました。
- ・勉強に関する質問に全然答えられなくて、もっと勉強しようと思いました。
- ・もし自分が1年生だったら、同じことを聞いていたんだろうと考えながら、質問に答えました。
- ・1年生が私たちの発言を必死にメモをとる姿を見て、話した甲斐があったと思いました。
- ・1年生が、思ったよりも私たちを尊敬してくれていてうれしかったです。だからこそ、尊敬される先輩でいられるように努力をし続けたいと思いました。